

平成25年度岐阜県総合医療センター児童虐待予防委員会研修会
「虐待予防～妊娠中からの虐待予防について学ぶ～」

- 1 目的 「にんしんSOS(思いがけない妊娠など妊娠に悩む人の相談窓口)」の現状について理解し、虐待予防のために必要な医療機関の役割と妊娠中からのサポート体制づくりについて学ぶ。
- 2 主催 岐阜県総合医療センター 児童虐待予防委員会
- 3 後援 岐阜県医師会(予定)、岐阜市医師会(予定)、岐阜県看護協会(予定)
- 4 日時 平成25年7月11日(木) 18:00～20:00(受付開始17:30)
- 5 会場 岐阜県総合医療センター 情報交流棟3階 講堂
〒500-8717 岐阜県岐阜市野一色4-6-1 TEL058-246-1111
- 6 内容 【開会挨拶】 18:00-18:05
岐阜県総合医療センター 医監兼母とこども医療センター長 山田新尚

【講演】 18:05-19:35
「虐待予防～妊娠中からの虐待予防について学ぶ～」
講師：大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査部長 佐藤拓代 先生
座長：岐阜県総合医療センター 医監兼母とこども医療センター長 山田新尚

【質疑応答】 19:35-19:55

【閉会挨拶】 19:55-20:00
岐阜県総合医療センター 副院長兼小児医療センター長 桑原尚志

司会：岐阜県総合医療センター 主任部長兼新生児医療センター長 河野芳功
- 7 対象 当院スタッフ、医療・保健・福祉・教育関係者 ※一般の方は対象外
- 8 定員 200名

9 その他 日本医師会生涯教育制度2単位対象研修会(予定)

10 講師の略歴 佐藤 拓代 先生

東大阪市保健所所長、大阪府富田林保健所所長等を経て、現在、大阪府立母子保健総合医療センター企画調査部長。

小児科医師、産婦人科医師を経て1988年に保健所医師に。

当時から保健師とともに子どもの虐待に関わり、調査から保健師活動が虐待支援に有効であると言いつけている。

特に妊娠期からの虐待予防とネグレクトへの支援の重要性を強調している。

日本子どもの虐待防止学会評議員。

＜主な著書等＞

○共著『虐待予防と親の支援—保健所からのレポート』

○共著『最前線レポート児童虐待はいま—連携システムの構築に向けて』

○共著『子ども虐待と貧困—忘れられた子どものいない社会をめざして』